

希望

チユーリツヒ日本人学校便り

平成 28 年 5 月 18 日発行

第 7 号

発行人 校長 鈴木史良

ボランティア活動始まる

—— 保護者と教職員が力を合わせて学校をよりよいものに ——

今年度も保護者の皆さまにボランティアをお願いし、全日制では全家庭からお申し込みをいただきました。お忙しいなか、本当にありがたいことと職員一同心より感謝申し上げます。

5月13日(金)に保護者ボランティア説明会をおこないました。今年度のボランティア活動の内容は、年間を通しておこなわれる図書、掲示関係。主として初夏～初秋におこなわれる芝刈り、授業(水泳、持久走)関係。運動会関係。さらに特別授業としての講話会関係です。

図書ボランティアは、図書室にある図書の整理や子どもたちへの読み聞かせをやっていただきます。お母様方から直接語りかけられる読み聞かせは子どもたちに大人気です。掲示ボランティア

は、職員室前の廊下掲示板に、それぞれの季節感あふれる事物や日本の伝統行事に関するものなど、子どもたちが楽しめるような掲示をしていただきます。昨年度はお休みでしたが、今年度復活いたしました。芝刈りボランティアは6月、8月、9月に芝刈り機の入れないグラウンド・フェンス沿いの草を除去していただきます。授業ボランティアは体育の授業の補助者として参加していただきます。水泳の場合はプールサイドから泳ぐ子どもたちの安全を見守っていただくこと、持久走練習では走行コース途中に立って、走る子どもたちの安全を見守っていただくことです。運動会ボランティアは来たる6月4日の運動会で、召集、決勝審判、用具の出し入れ等をしていただきます。特別授業としての講話会関係ボランティアは、子どもたちのために特別授業をしていただくボランティアです。昨年度は大学の寄生虫学研究所に勤務されていた保護者の方から、寄生虫を研究することは世界の生活基盤につながるという興味あるお話をしていただきました。

このようにボランティアの仕事を振り返ってみると、日本人学校が保護者のご協力によって、いかに助けられているかがわかります。日本の公立校とは比較にならないほどでしょう。それは、海外の学校はもともと手づくりの学校からスタートしたものであると私は思っています。

以前勤務した日本人学校の開校当時の記録に、つぎのような文章がありました。

学校をつくるということは、私たちの手で煉瓦を積み、一枚一枚の板に釘を打ち付けていくことなのです。私たちのかわいい子どもたちのために……。

この印象的な一文は、私の心に深く刻み込まれています。日本から海外勤務として派遣されるなか、いずれ日本で教育を受けるわが子に、海外においても何とかして日本の教育を受けさせたいと願う、保護者としての切なる思いを受けとめました。すべてのボランティア活動は子どもたちのために他なりません。本校の活動も、このような思いをスタートにしたのではないのでしょうか。

六月

茨木のり子

どこかに美しい村はないか
一日の仕事の終わりに一杯の黒ビール
鍬を立てかけ 籠を置き
男も女も大きなジョッキをかたむける
どこかに美しい街はないか
食べられる実をつけた街路樹が
どこまでも続き
すみれ色した夕暮れは
若者のやさしいさざめきで満ち満ちる
どこかに美しい人と人との力はないか
同じ時代をともに生きる
したしさとおかしさとそうして怒りが
鋭い力となって たちあらわれる



六月が近づくと、いつもこの詩を思い出す。日本では梅雨期に入るが、この詩にはじめじめとしたうっとうしさはない。むしろヨーロッパのすがすがしい六月を想起させる。

第一連はなだらかな牧草地が広がる村を連想。小さな村には必ずある一軒のpub。そこに農作業を終えた村人たちが集い、黒ビールがそそがれたジョッキをかたむける。大声で冗談を言い合う気のよい人々のざわめきが聞こえる。

第二連はチューリッヒ市街を連想。湖畔を散歩する恋人たちや老人と犬。カフェは人々にぎわっている。ビールを飲む者、大いに語る者、微笑みながらうなづく者。水面に遊ぶ鴨、ゆったり流れる時間、すべてをトワイライトの光が優しく包んでいる。

第三連は人と人との結びつきの大切さを連想。一期一会ともいえる同じ時代をともに生きる人間同士の結びつき。学校においては子ども同士、子どもと教師、教師と保護者、教師同士等、さまざまな場面で人間同士の結びつきがある。何か困難な問題、乗り越えなければならぬ問題に直面した時、人と人との結びつきが鋭い力を発揮する。

特別警戒のお知らせ～その2

学校便り第5号でもお知らせしましたが、伊勢志摩サミット開催期間中の在外公館、在外教育施設の安全管理についての配慮が求められています。16日～29日まで特別警戒期間が設定され、日本大使館から要請を受けたチューリッヒ州警察、ウスター市警察が本校周辺の見回りを強化してくださいとのことです。ときどき、パトロールカーが周辺を巡回する可能性がありますので、ご承知おきください。



日常の授業風景(低学年英語)